

**2023年3月期第2四半期**

# **決算説明会資料**

**2022年11月7日**

**株式会社 ドリームインキュベータ（証券コード4310）**

**DI**

# 要 旨

中期経営計画に沿って着実に進行中。最大のインキュベーション先であるアイペットの譲渡\*を決議し、事業構造転換を大きく加速

第2四半期業績は、引き続き順調に推移

- ビジネスプロデュース方針： 継続成長
  - 第2四半期売上は17億円（対前期比+31%、通期計画進捗率51%）。新規事業創造ニーズの高まりを背景に引き続き拡大基調
  - 陣容拡張（採用加速）は、順調
- インキュベーション方針： 厳選育成と、適切な収穫を推進
  - 事業投資： ワークスタイルラボ、ピークスに続き、アイペットの譲渡\*を決議。成立した場合、特別利益 約182億円
  - ベンチャー投資： 複数件収穫。第3四半期以降も複数パイプライン有

中長期成長を見据えた仕込み（他業種との協業拡張）も進捗

- MUFGとのコラボによるビジネスプロデュースの加速
- 電通とASEAN市場向け「ビジネスプロデュース・サポート・プログラム」を提供開始



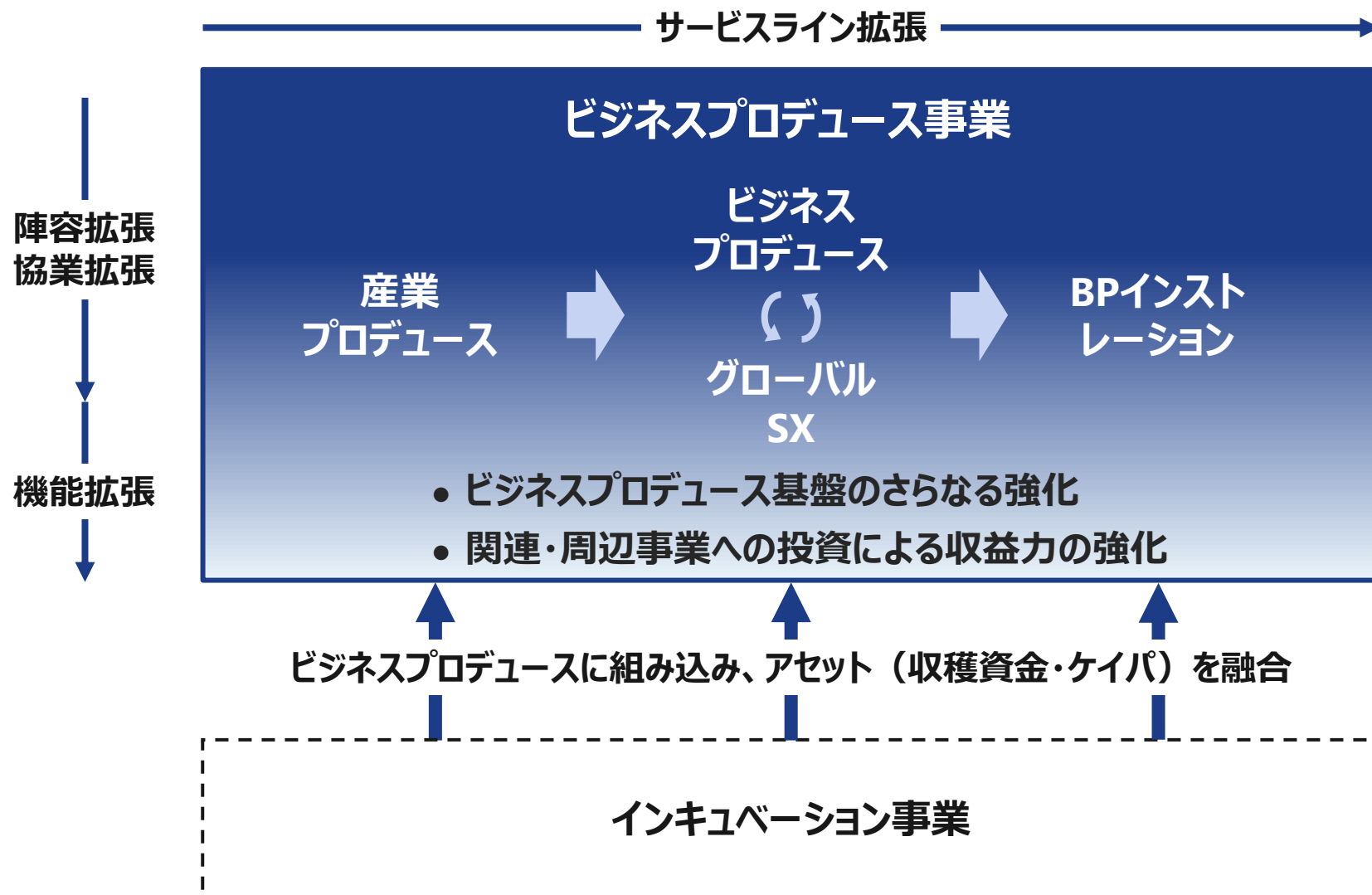
## **1. （再掲）中期経営計画要旨**

## **2. 2023年3月期 第2四半期決算要旨**

## **3. アイペット株式譲渡に関する説明**

# 目指す方向性

インキュベーションのアセットを組み込み、4つの拡張でビジネスプロデュースを更に強化



# 企業価値向上への成長投資と株主還元をバランス

NAV経営からPL経営への移行に伴い、株主還元を再開

**成長投資（機能拡張）：利益向上**



**株主還元：EPS・PER向上**

規律（費用対効果）ある投資

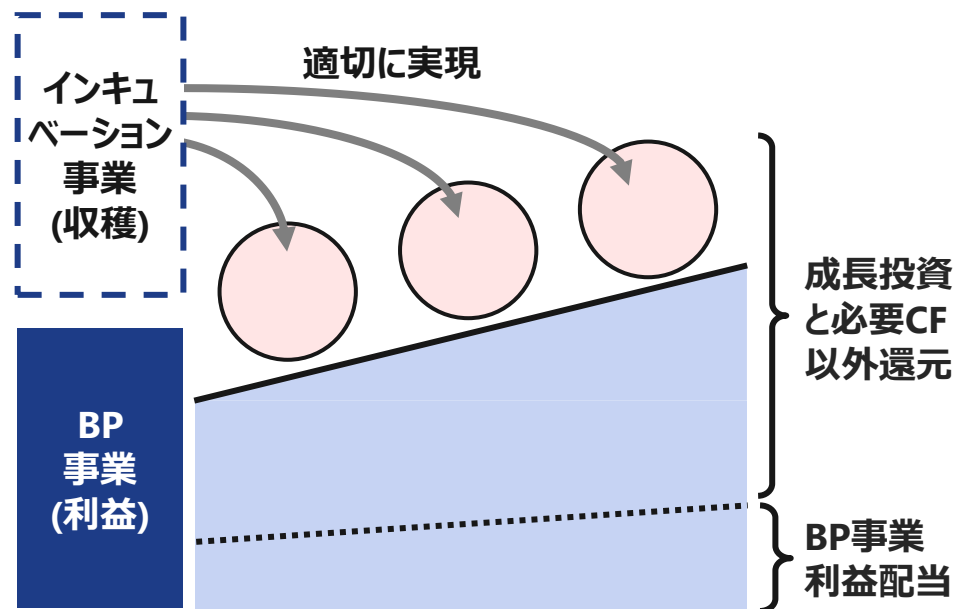
安定成長PL利益と収穫資金から

① ビジネスプロデュース基盤のさらなる強化

- 採用・人材育成投資
- 生産性向上に向けたインフラ投資

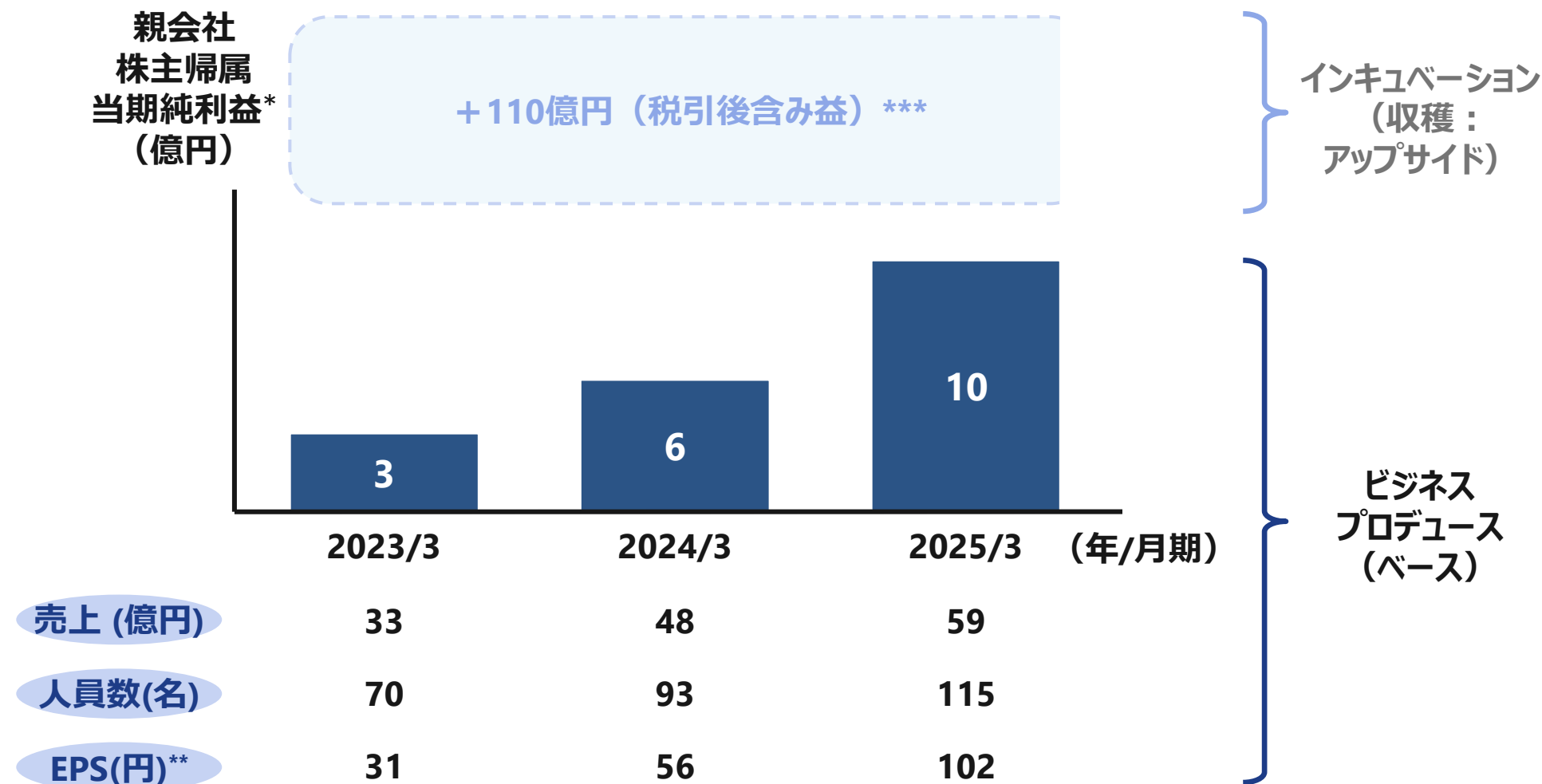
② ビジネスプロデュース関連・周辺事業への事業投資による収益力の強化

- ケイパ増強・収益機会拡大等への投資
- 期待ROIC\* > 12%



# 中期利益計画（2023年3月期～2025年3月期）

ビジネスプロデュース当期純利益＋インキュベーション収穫からの上乗せ可能性



\* 簡便的に経常利益×税率30%で試算  
\*\* 2022年3月末時点の発行済株式数を前提とした試算  
\*\*\* 2022年3月末時点



## 1. (再掲) 中期経営計画要旨

## 2. 2023年3月期 第2四半期決算要旨

## 3. アイペット株式譲渡に関する説明



# 2023年3月期 第2四半期 連結P/L（保険項目調整後）

| (単位：億円)    | 2022年<br>3月期<br>第2四半期 | 2023年<br>3月期<br>第2四半期 | 対前期比 |        |
|------------|-----------------------|-----------------------|------|--------|
|            |                       |                       | 増減額  | 増減率    |
| 売上高        | 167.9                 | 188.7                 | 20.8 | 12.4%  |
| 売上総利益      | 75.1                  | 93.5                  | 18.4 | 24.6%  |
| 営業利益       | 2.3                   | 20.2                  | 17.9 | 755.3% |
| 経常利益       | 4.4                   | 21.1                  | 16.7 | 378.4% |
| 親会社株主帰属純利益 | 0.6                   | 9.5                   | 8.9  | —      |

アイペット譲渡決議に伴う税金費用  
(留保利益に係る連結税効果)  
7.1億円\*を見越し計上

\* 2018年3月期以降は調整後利益、それ以前は調整前利益を元に留保利益を算出



# 2023年3月期 第2四半期 連結P/L（保険項目調整前）

参 考

| (単位：億円)    | 2022年<br>3月期<br>第2四半期 | 2023年<br>3月期<br>第2四半期 | 対前期比 |       |
|------------|-----------------------|-----------------------|------|-------|
|            |                       |                       | 増減額  | 増減率   |
| 売上高        | 167.9                 | 188.7                 | 20.8 | 12.4% |
| 売上総利益      | 70.4                  | 81.2                  | 10.8 | 15.4% |
| 営業利益       | ▲2.3                  | 7.9                   | 10.2 | —     |
| 経常利益       | ▲0.2                  | 8.7                   | 9.0  | —     |
| 親会社株主帰属純利益 | ▲1.2                  | 10.1                  | 11.4 | —     |

アイパット譲渡決議に伴う税金費用  
(留保利益に係る連結税効果)  
1.5億円を見越し計上

# 保険会計の調整項目及び調整額

参 考

| (単位：億円)           | 2022年<br>3月期<br>第2四半期 | 2023年<br>3月期<br>第2四半期 |
|-------------------|-----------------------|-----------------------|
| 調整前売上総利益（連結）      | 70.4                  | 81.2                  |
| ● 普通責任準備金に関する調整額* | +0.5                  | +7.3                  |
| ● 異常危険準備金繰入額**    | +4.2                  | +4.9                  |
| 調整額合計             | +4.7                  | +12.3                 |
| 調整後売上総利益（連結）      | 75.1                  | 93.5                  |

\* 普通責任準備金の算定を初年度収支残方式から未経過保険料方式へ変更した場合の調整額（戻入の場合はマイナス）  
\*\* 繰入額の影響を排除（戻入の場合はマイナス）

## 1. 普通責任準備金に関する調整

- 損害保険会社は、保険業法に基づき、普通責任準備金を、2つの方式（未経過保険料残高と初年度収支残高）で計算し、いずれか大きい方を負債計上する必要
- 上記に基づき、アイペット損保では制度会計上は初年度収支残高によっているが、**発生主義による利益**と近似する未経過保険料方式での損益を重要視
- また、上場企業において初年度収支残方式に基づく損害保険会社が限られているため、**競合他社比較の観点**からも、未経過保険料方式により算定された損益開示が投資判断に有用と判断

## 2. 異常危険準備金に関する調整

- 異常危険準備金は、異常災害による損害の填補に備えるため、法令により積み立てておくこととされている責任準備金的一种
- 法令で定める基準損害率を超える場合には、その損害率を超える部分に相当する金額を取崩し（費用のマイナス）、低い場合には、積み立てる必要
  - － アイペット損保では、損害率が基準よりも低いため、収入保険料に3.2%を乗じた金額を每期積み立て
- **実質的な損益実態**を把握する指標として、取崩し・積み立ていずれの場合でも、当該影響額を除いた損益を重要視

# 2023年3月期 第2四半期 セグメント別P/L

(単位：億円)

2022年  
3月期  
第2四半期

2023年  
3月期  
第2四半期

対前期  
増減率

概況

ビジネス  
プロデュース  
セグメント

- 売上高
- 経常利益

12.9  
1.3

17.0  
1.5

31%  
13%

- 第1四半期に続き好況
- 人員増が影響し、経常利益は横ばい

ハンチャー投資  
セグメント

- 売上高
- 経常利益

3.2  
0.1

11.7  
3.8

258%  
—

- 複数件の収穫を実現
- 3Q以降も引き続きトレードセールによる収穫を見込む

ハットライ  
スタイル  
セグメント

- 売上高
- 経常利益\*

136.9  
5.8  
(1.1)

159.9  
15.7  
(3.3)

17%  
170%

- 堅調なペット需要を背景に順調に推移

事業  
投資

HR  
イノベーション  
セグメント

- 売上高
- 経常利益

6.3  
▲0.7

—  
—

—  
—

- 当期1Qに譲渡し特別利益0.3億
- 期首より連結除外

ファン  
マーケティング  
セグメント

- 売上高
- 経常利益

8.6  
▲2.2

—  
—

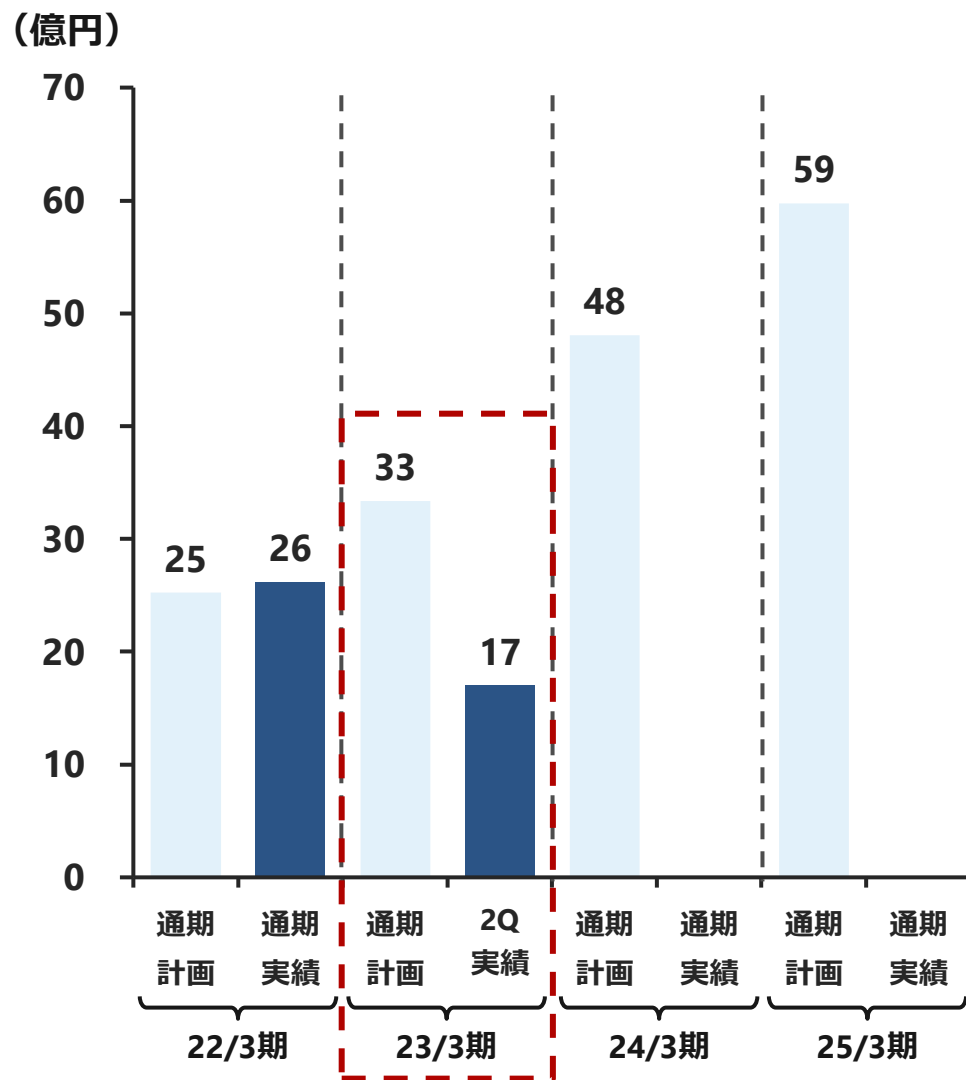
—  
—

- 当期1Qに譲渡し特別利益5.1億
- 期首より連結除外

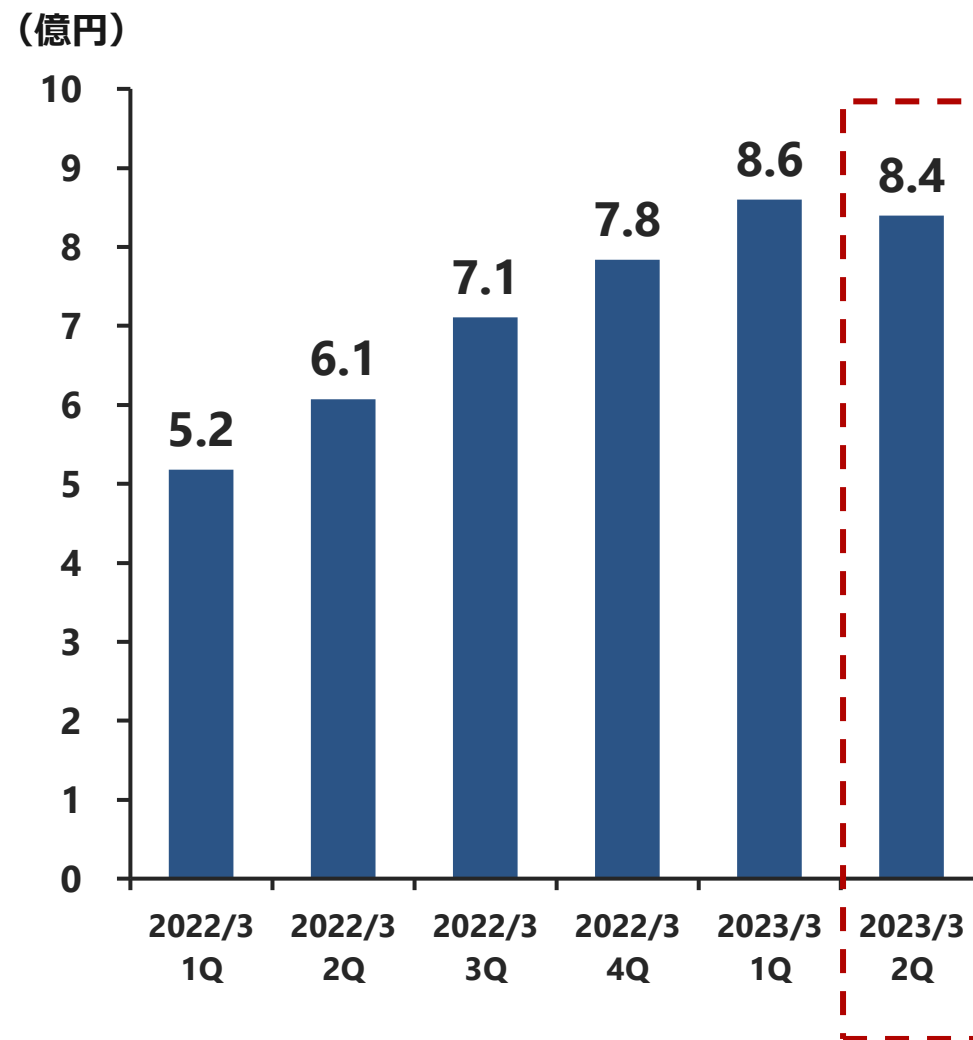
注：経常利益：セグメント利益－全社費用負担額±営業外損益  
\* 保険項目調整後。カッコ内は調整前

# ビジネスプロデュース売上状況

## 売上高\*計画対比



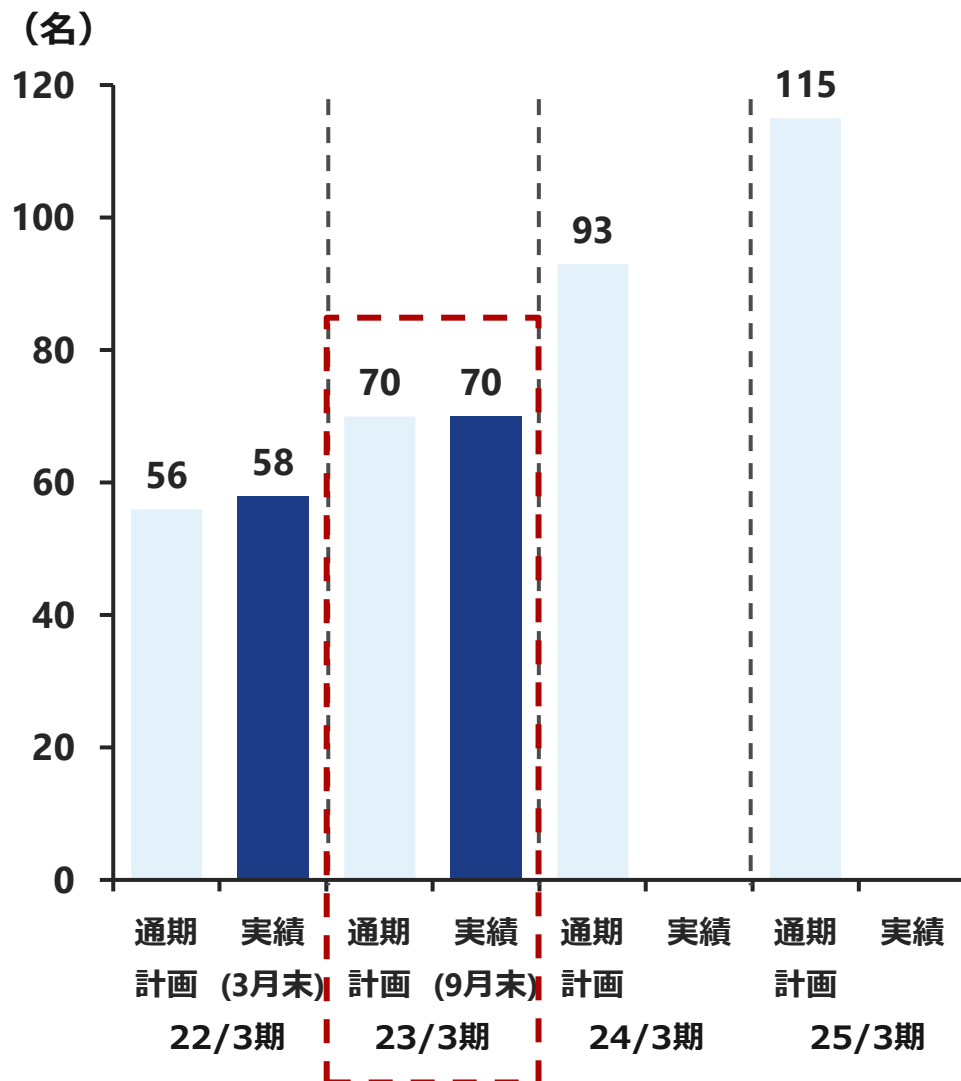
## 四半期売上高\*推移



\* カーブアウト済事業の売上・利益を除く

# 陣容拡張：順調に伸展

ビジネスプロデューサー\*人員数 計画対比



## DIの魅力を積極的に発信

### 人材吸引力は「ビジネスプロデュース」そのもの

- DIの社会的意義、仕事の魅力を広く伝えるためのオリジナル漫画の制作や、ビジネスプロデューサーに焦点を当てたマーケティング施策を展開
- 志高く、優秀な人材の採用加速、リテンションにも波及



価値創造・実現推進・価値拡大

3つの領域の進化によって  
事業創造は加速する

ドリームインキュベータ  
第一本部 統括執行役員 石川雅仁氏  
第二本部 統括執行役員 島崎崇氏  
第三本部 取締役副社長COO 細野恭平氏



READ MORE

\* インキュベーション専任者除く

# 協業によるビジネスプロデュース事業の成長加速

## MUFGとのコラボによる ビジネスプロデュースの加速

世界最大級の金融グループ三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）が大企業顧客の事業創造に貢献する部隊を新設。

この取り組みを、DIが産業プロデュース・ビジネスプロデュースのスキームを活用して支えると共に、DIが行う産業プロデュース・ビジネスプロデュース事業も加速し、両社の事業発展・革新を推進。



## 電通とのASEAN市場向け 「ビジネスプロデュース・サポート・プログラム」

DI・電通の東南アジア各国における支援実績をもとに、3つの「E」のメニューを提供

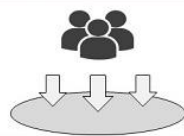
- ① Entry：市場参入
- ② Expansion：現地事業の拡大
- ③ Evolution：SXのデザイン
  - ・ SX：Sustainability Transformation

### 電通とドリームインキュベータによる ASEAN の 3E 事業支援

電通とドリームインキュベータによる東南アジア各国における支援実績をもとに、目的・成長戦略にあった支援メニューを提供

↓ “真の勝ち筋”の見極めに向け、コンサルティングノウハウとサービスを提供

**Entry**  
市場参入の支援



↓ “非連続”な成長・事業拡大に向け、事業戦略を提案

**Expansion**  
現地事業の拡大



↓ 社会課題に根差した中長期スパンの新規事業をデザイン

**Evolution**  
SX\*のデザイン

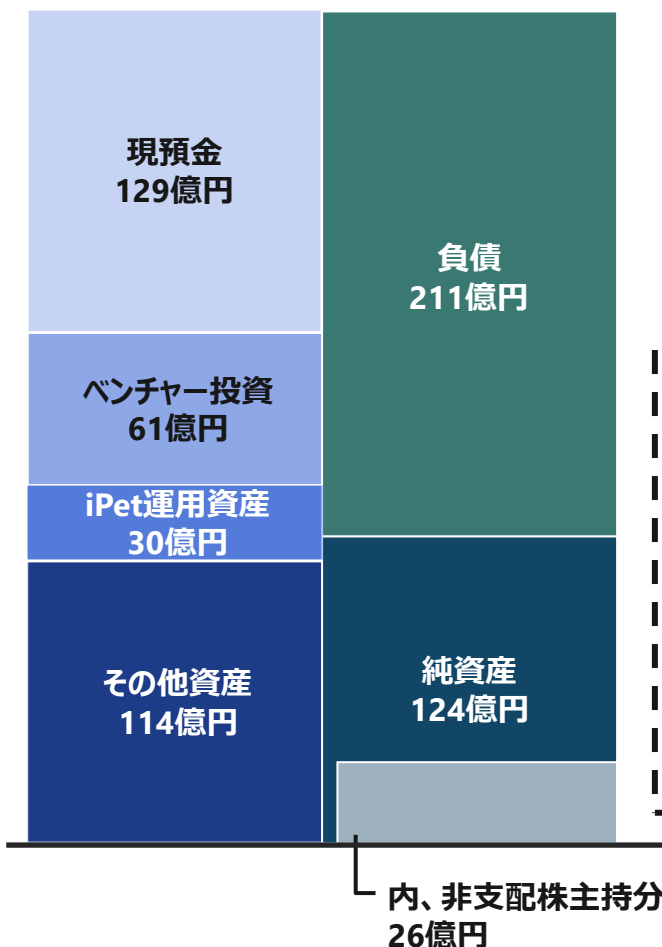


※SX：Sustainability Transformation



# 2023年3月期 第2四半期 連結B/S

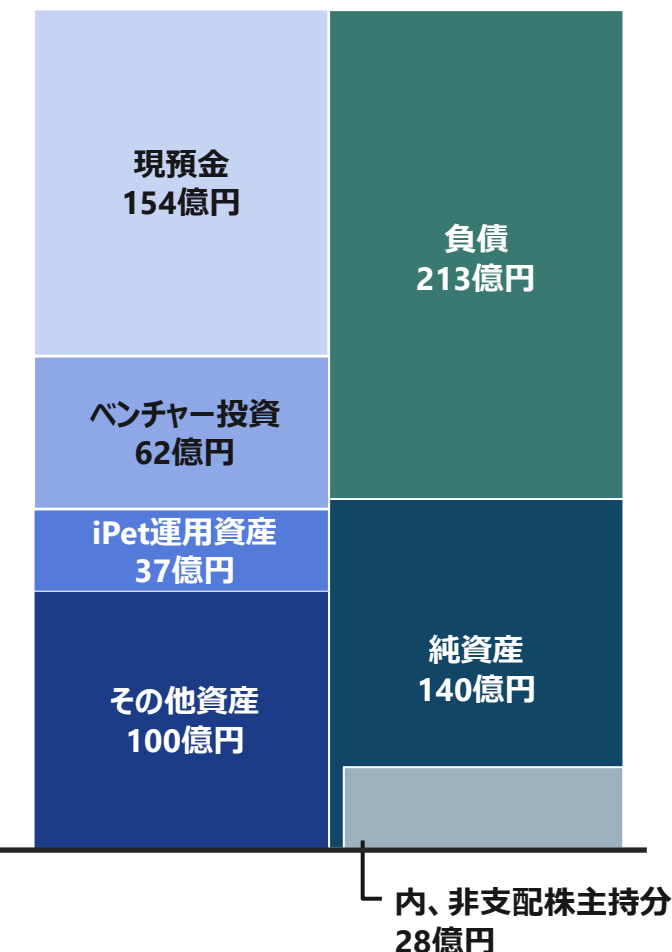
2022年3月末  
(総資産：335億円)



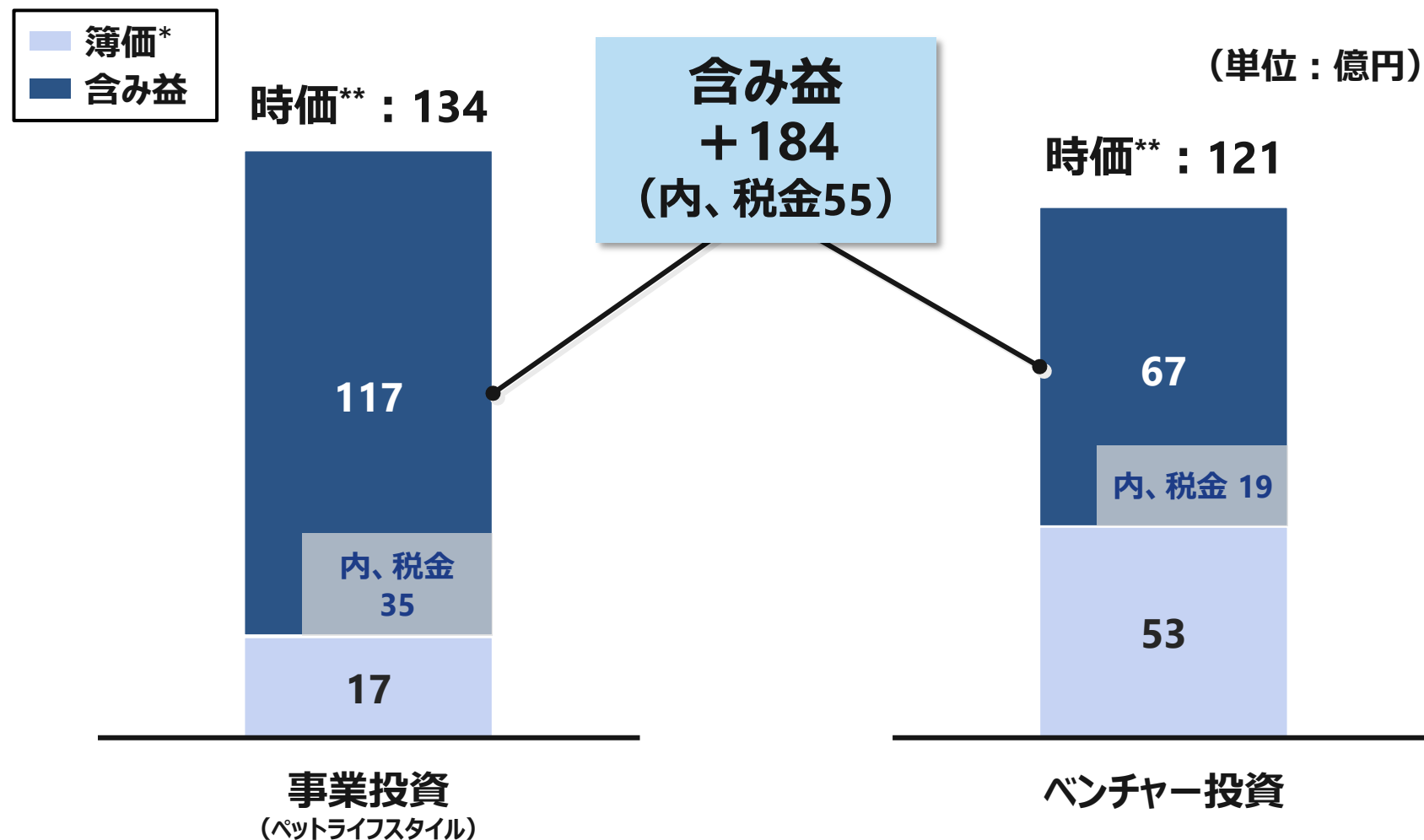
## 純資産 増減内訳

- 当期純利益 + 10.1億円
- 非支配株主持分 + 2.2億円
- その他有価証券  
評価差額金 + 4.3億円
- その他包括利益等 + 0.5億円
- 資本剰余金 ▲ 1.7億円
- 合計 + 15.5億円

2022年9月末  
(総資産：353億円)



# 2023年3月期 第2四半期末の投資状況



\* ファンド投資はDI持分のみ  
\*\* 上場銘柄：期末時点時価総額 × 当社持ち分  
未上場銘柄：期末時点投資簿価残高 ± 時価評価差額（直近ファイナンス価格や第三者取引価格）  
上記価格が無いものは再評価せず、簿価評価



**1. （再掲）中期経営計画要旨**

**2. 2023年3月期 第2四半期決算要旨**

**3. アイペット株式譲渡に関する説明**

## 目的及び背景

- 2011年2月にアイペットへの投資育成を開始し、成長を支援。その結果、約10年間で売上は11倍、契約保険件数は9倍に成長
- これまでの著しい成長を鑑み、DIが担うべき投資育成の使命は十分に果たされた、と判断
- アイペットとしても、次のステージの成長に向け、資本含めた支援が可能な新たなパートナーと関係を築く必要
- 中期経営計画で示した方向性も踏まえ、今回のTOBへの応募を決断

## 財務インパクト（予定通りTOB成立の場合）

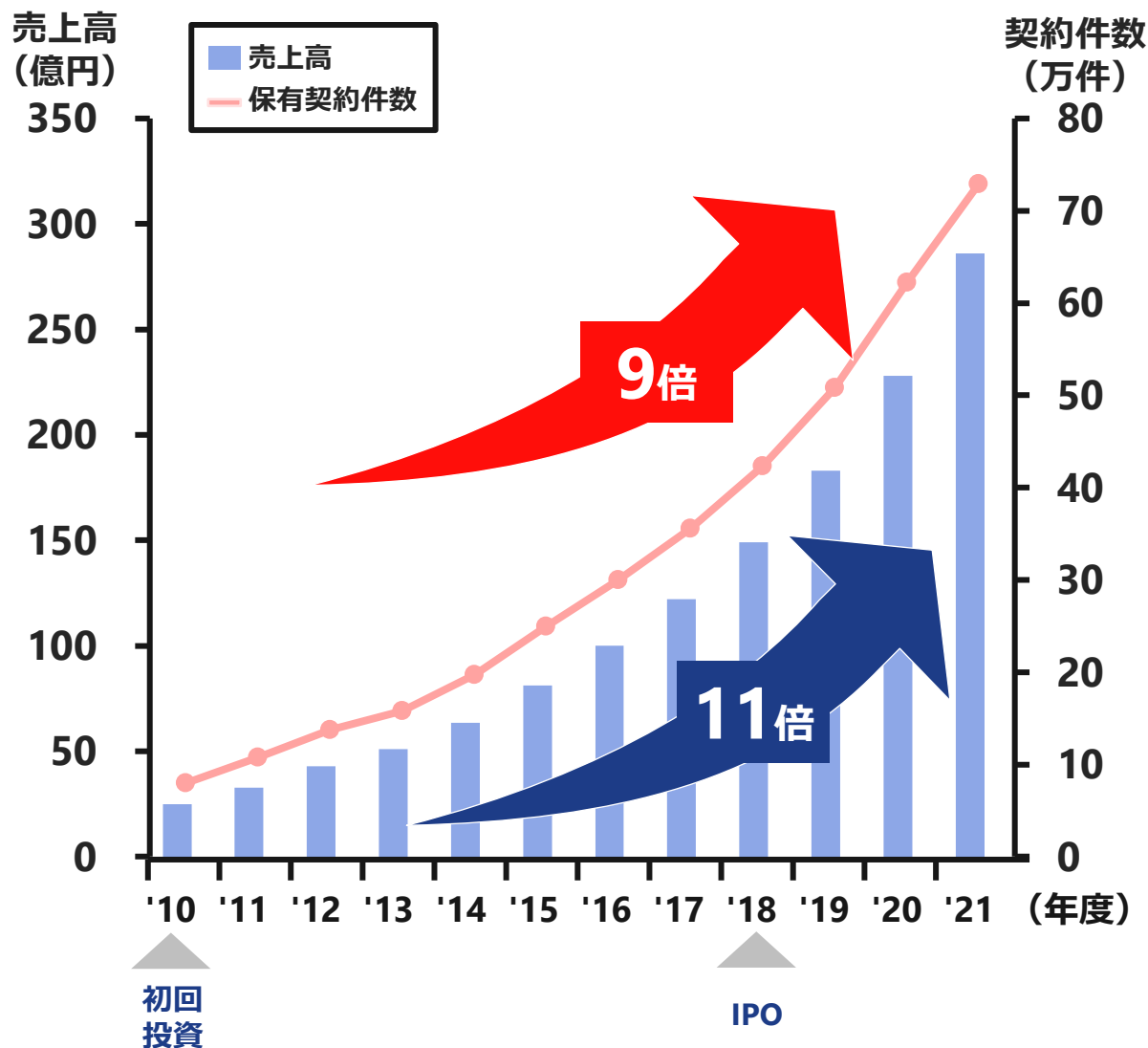
- 特別利益 約182億円
- キャッシュイン 約150億円（税引後）

## 資金使途

- 150億円のキャッシュインのうち、100億円は株主還元、50億円はビジネスプロデュース成長資金とし、その詳細は具体化の上、期末決算までを目安に公表

# DI投資後、アイペットは大きな成長軌道に

## 投資後の売上高・保険契約件数推移



## DIの提供価値

役職員を派遣し、戦略構築～その後の実行まで一気通貫で支援

- 経営・ガバナンス体制構築
- 成長戦略立案・実行支援
- チャンネル・商品戦略支援
- Digital Marketing支援
- 資本政策・IPO支援
- M&A支援
- DX支援

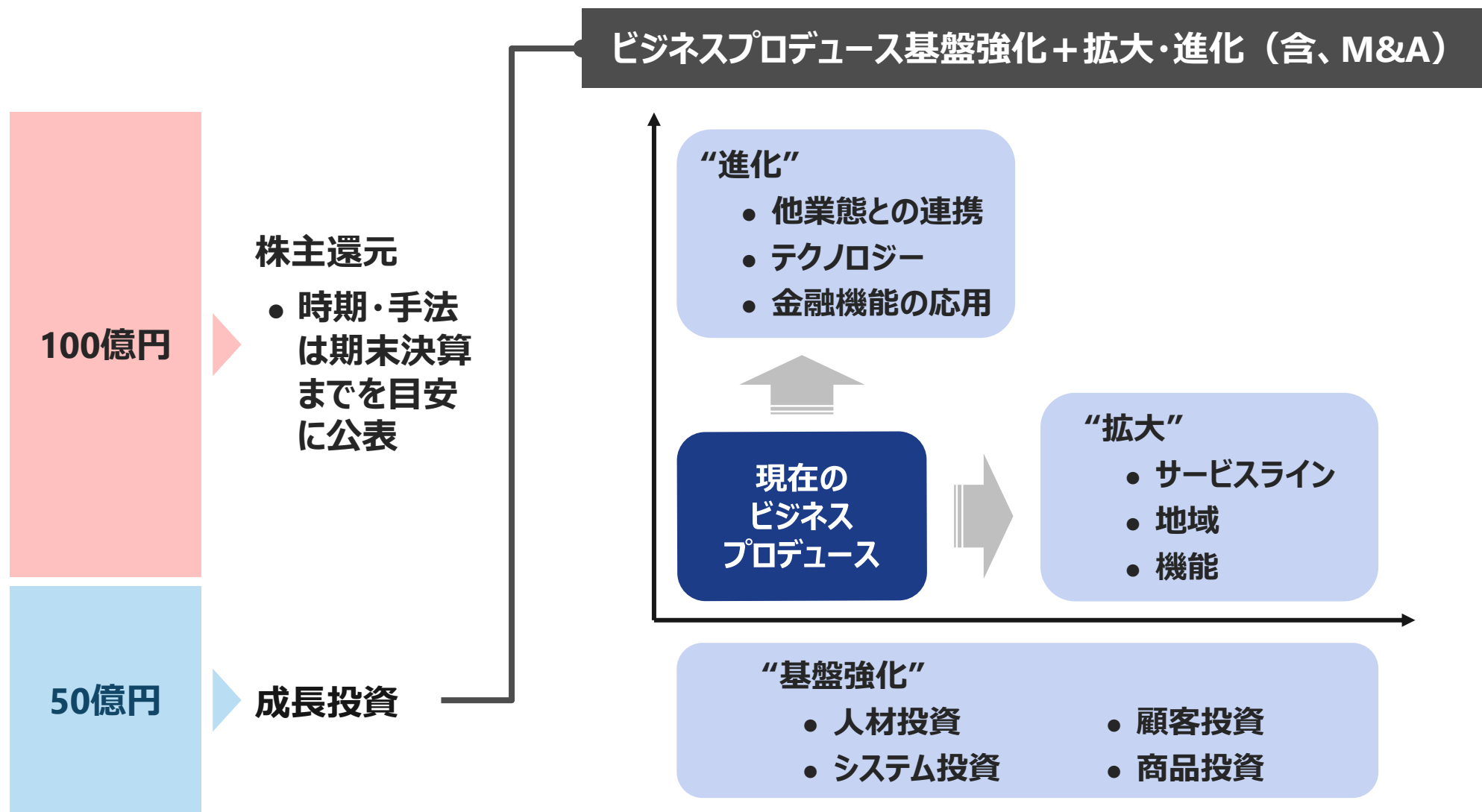
# インキュベーション事業（事業投資）パフォーマンス

参 考

|     |                                  | 事業概要                      | 投資時期<br>(年/月) | 売却時期<br>(年/月) | 含み/売却損益 <sup>1)</sup><br>(億円) |
|-----|----------------------------------|---------------------------|---------------|---------------|-------------------------------|
| 投資中 | BOARD WALK                       | イベント Eチケット                | 2015/9        | —             | 非開示 <sup>3)</sup>             |
| 売却中 | アイペット HD                         | ペット向け 医療保険                | 2011/9        | —             | +193 <sup>2)</sup><br>(+182)  |
| 売却済 | ワーク スタイルラボ                       | フリーコンサルの マatchingPF       | 2018/8        | 2022/6        | ▲2.2 <sup>4)</sup><br>(+0.3)  |
|     | ピークス                             | 趣味に関するIP (雑誌/デジタル メディア)   | 2021/2        | 2022/4        | +3.4 <sup>4)</sup><br>(+5.1)  |
|     | DI Asia                          | アジアの市場調査                  | 2014/7        | 2019/10       | ▲2.6                          |
|     | ReValue                          | アセット リクイデーション             | 2010/7        | 2016/1        | ▲7.0                          |
|     | TGC (日本知財 ファンド1号 <sup>5)</sup> ) | Tokyo Girls Collection商標権 | 2012/2        | 2015/7        | +2.4                          |

- 1) 投資中案件は含み損益、売却済案件は売却損益（連結P/Lでの取込額を除く、税引前のCFベース）  
2) 第一生命ホールディングスと応募契約締結価格（一株当たり3,550円）の場合。カッコ内は当期連結上の計上見込み額  
3) 投資中案件の金額は原則非開示（除く、上場済）  
4) 過年度の損失を含む額。カッコ内は当期に計上した額  
5) 形式上はファンドだが、実質判断で事業投資として評価

# 売却に伴う収益分配方針：株主還元100億と成長投資50億





# DI = The Business Producing Company

Mission : **社会を変える 事業を創る。**

Vision : **挑戦者が 一番会いたい人になる。**

Value : **枠を超える。**

- 領域の **枠を超えて** 構想する。
- 常識の **枠を超えて** 戦略を立てる。
- 組織の **枠を超えて** 仲間を集める。
- 自分の **枠を超えて** 挑戦する。

**本資料内に記載された将来の見通しや戦略等は、作成時点において入手可能な情報に基づくものであり、目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、経営環境の変化、投資先企業の業績の悪化、金融商品市場における株価の変動等の要因により実際とは大きく異なる可能性があります。**

**また、本資料の内容は将来予告なく変更されることがあります。本資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合し、利用者の判断によって行って頂きますようお願い致します。本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。**

# Dream Incubator Inc.

The Business Producing Company